



VOL.51

「桂川っ子」の文字は、
 桂川中学校美術部員が
 デザインしたものです。

読み聞かせの楽しさ・・・

桂川中学校 校長 安永保之

「朝の読書の時間」の中に、ポランテイアによる読み聞かせを昨年度から学期に一回実施しています。なぜ、中学校でもするのかという声も聞かれましたが、年齢に関係なく楽しいのです。見たたり聞いたり、読んだりすることでもイメージすることが読書の醍醐味です。昨年度の生徒一人当たりの図書館の本の貸し出しは、1年生31冊、2年生38冊、3年生25冊となっています。一年間の貸し出し合計数は、1万1035冊となります。すごい読書量です。

しかし、たくさんすればするほど身につくとは限りませんが、語彙を増やし、語彙がたくさんあれば自分の気持ちや人生を豊かに表現することにつながっていきま。ひとつのことを一つの言葉でなく、幾通りものことばで表したり、同じ言葉でもイントネーション

ンを変えたり、身ぶり、顔の表情によって受け取り側は違ってきます。



3年生のある学級は、「百万回生きたネコ」という絵本を聞きました。私はこの絵本が大好きです。家族との絆が大切という主意ですが、園児・中学生・大人と生活体験を重ねれば重ねていくほど、作者の意図が今の自分の生活と交差して心の中に落ちてきます。

最後に読み聞かせは、生きた国語の体験授業ではないでしょう。生徒たちが、親になったときに我が子に、あるいは年老いた祖父母に読み聞かせをしてくれることを願って、今後も朝の読書の時間を続けていきます。

中学校での武道学習は『剣道』

桂川町教育委員会

指導主事 森 隆

テレビや新聞等によりますと、中学校の「柔道」学習での事故を心配する報道が時折なされています。私たちの町の桂川中学校では、どうするのだろうかと思われることでしょうか。

今年の4月から中学校では、新たな教育活動が、いくつか始まりました。その中の一つに体育科の学習での武道があります。これは、「柔道」「剣道」「相撲」等の中から中学校が選ぶことになっています。

桂川中学校での武道の学習は「剣道」を行います。一昨年度から県の教育委員会のモデル事業を受けて実績を残しています。剣道の学習では、道具が必要となります。一クラスが一度に活動できるように学校で揃えています。指導者は、校内に有段者で指導できる教員がいますし、何よりも地域の方で指導に堪能な人がおられることが強みです。

その他に「伝統や文化に関する教育」として、音楽科におい

て「三味線を使った学習」、美術科では、「箸の加工や仏像鑑賞、水墨画の学習」に取り組みことにしています。

学力向上にも力を入れて取り組んでいます。国語・社会・数学・理科・英語・保健体育の授業時間が増えました。そのため、週に1時間の授業増となっています。また、夏休み後半の5日間（今年は8月27日～31日）に毎日3時間の授業を計画しています。土曜日の授業も2・3学期にそれぞれ1回ずつ（11月17日、2月2日）の実施を予定しています。

これからの社会は厳しくなることが予想されます。子どもたちに「生きぬく力」を育てるためには、地域との連携が何よりも大切になってきます。各学校では、地域の方々の支援をお願いしている様々な教育活動が計画されています。ご協力よろしくお願ひします。

